

ごみ袋とごみの分け方が変わります

飯田市下久堅へ建設中の新しいごみ焼却施設「稲葉クリーンセンター」の稼働に伴い、燃やすごみ袋とごみの分け方が変わります。以下にご留意いただき、ごみを分別して出していただくようお願いいたします。

いつから変わるの？

平成29年9月1日から変わります。

どんな袋になるの？

紙袋からポリ製の黄色の袋に変わります。小袋も販売します。

使用期限はありますか？

ありません。

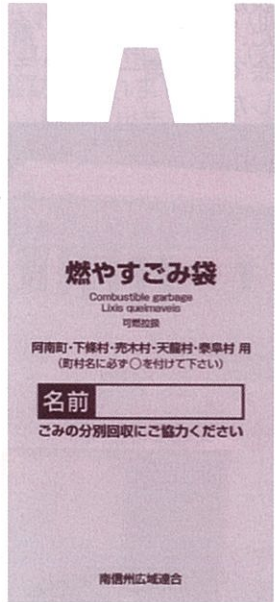
今までの袋はいつまで使えるの？

これまで埋立ごみに分別していたプラスチック類（一部除く）や皮革製品、ゴム製品が燃やすごみになります（下表参照）。

ごみの分け方はどんな風になるの？

例えばこういったものが「燃やすごみ」になります。

●カッパ	●ホース	●衣装ケース	●おもちゃ
●CD・DVD	●ペン	●プランター(プラ製)	●保冷剤
●かばん	●靴	●スポンジ	●乾燥剤 など



分別の詳細につきましては、各家庭へ配布しましたごみ分別ポスター「家庭ごみの分け方・出し方」をご覧ください。
また、不明な点はご遠慮なく役場振興課へお問い合わせください。

職員紹介

県からの交流職員として

月岡 拓朗

四月から、長野県庁からの交流職員として役場総務課にお世話になっております。長野市出身の月岡拓朗と申します。業務は音声告知放送やふるさと納税を担当しており、県庁では、企業局（水道事業）の経理、税務等を経験してまいりました。

下條村にお世話になることになったのは、本当に偶然なのですが、少子高齢化等社会の枠組みが変化しつつある中、より住民のみなさまに近い環境で、これから県が求められる役割は何かを肌身で感じ取りたいと、以前から考えておりました。

村で生活し、いくつかの活動に参加させていただき思ったのは、村主催の行事だけでなく消防団や近所の集まり等、様々な地域活動を通じて、子どもからお年寄りまで活気があり、強い絆で結ばれていること、これは私にとっては大きな魅力と感じました。

趣味は、登山、ラーメンの食べ歩き、楽器演奏です。仕事以外でも村の様々な姿を見て、知って、経験したいと思っておりますので、



行事などで見かけた際は、お気軽にお声かけください。村外から来た身として、少しでもみなさまのお役に立てればと思っております。よろしく願いいたします。

放送大学 10月生募集のお知らせ

- 放送大学は、平成二十九年度第二学期の学生を募集しています。
- 心理学・福祉・経済・歴史・文学・情報・自然科学など、約三百の幅広い授業項目があり、一科目から学ぶことができます。
- 全国に学習センターが設置されており、サークル活動などの学生の交流も行われています。
- 資料を無料で差し上げています。お気軽に放送大学長野学習センター（☎〇二六六一五八一二三）までご請求下さい。
- 出願期間は、第一回は八月三十一日まで、第二回は九月二十日まで。

地域おこし協力隊として

宮越 絵美



小学4年～6年生の釣りクラブに参加しました。

下條村に、地域おこし協力隊として着任し約1カ月が経ちました。私は長野県須坂市出身で、いつかは地元長野で地域貢献に関わることがしたいと思いい、協力隊という立場で地域に密着した働き方ができると考えていた中で、今回、下條村が初の協力隊を募集しているとの事で、さらには今までされてきた行政改革や「奇跡の村」と呼ばれる理由に感銘を受け、ぜひこの下條村で皆様と力をあわせて今までの村づくりにも携わりたいたいと思います。

した。実際に下條村で生活し村民の方と交流させて頂いた中で感じたことは、「子供たちが本当に礼儀正しく、何より元気いっぱい挨拶してくれたい事」にびっくりしました。また子供たちだけでなく、どの皆様も温かく迎え入れて下さりとても感謝しております。協力隊としての業務内容は、移住定住促進・婚活事業・SNS配信等の業務になります。これから、村民の皆様のお声を参考に下條村に伝え、少しでも多くの方に下條村へ来ていただけるように活動して参りたいと思っております。宜しくお願い致します。



7月8日（土）東京で行われた移住イベント